

平成27年10月14日

博士学位論文（課程博士）審査の早期修了に係る審査方法について

物理学専攻 専攻長 矢花一浩
物理学専攻 学務委員 今井 剛

物理学専攻では、博士後期課程を修了するための規定の在学期間は3年以上ですが、優れた研究業績を上げたと認められる者は、必要な単位を取得するとともに、所定の手続きにより認定を受けることによって、在学期間が3年未満でも修了することができることとなっています。

物理学専攻では、3年未満での早期修了の認定は、通常の博士学位論文の審査に加え、次の条件を満たすものとします。

早期修了による審査を開始するためには、予備審査の実施時に、すでに博士学位論文の内容の主要な部分が学術論文として出版されているか、または掲載決定となっていることを条件とする。

また、予備審査の資料として、以下の書類の提出を求めます。

- ・博士学位論文の概要
- ・研究業績リスト
- ・出版論文のコピー。出版前の場合は掲載決定の通知書も提出すること。
- ・本人の自薦書（優れた研究業績を上げたと考える点を述べる。資料の添付可）。
- ・推薦書または意見書2通（2通とも学内の教員によるものであっても良い。）

予備審査の資料の提出については、今年度3月期修了の場合は11月にアナウンスを行い、12月初旬に提出を求めます。早期修了を希望する学生は、あらかじめ準備をしてください。

以上